

平成25年度

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ  
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2014/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る(仕組み・組織・ネットワーク)	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成25年4月18日 平成25年12月10日	約20名		地域の「自然」を知り、活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用したそらの森植樹会を開催した他、沿道花壇への植栽団体をアピールするためのルートマガジンを発行した。 地域の「景観」を知り、活かすための活動として、現地見学会を開催し、道路付帯施設や路側の雑草の道路景観への影響を評価した。 地域の「産業」を知り、活かす活動として、地域食材を活用したシーニックカフェの連携活動を行ったほか、新たな観光客層を発掘すべくバリアフリーツーリズムについての勉強会、モニターツアーを開催した。	
			2	ルートマガジンの発行	景観まちづくり部会 情報広報部会	平成25年11月				
		3	②自然環境を知る・活かす	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成25年10月19日	約60名	A - 2		
		4	③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	現地見学会の実施	景観まちづくり部会	平成25年9月19日	9名			
			④温泉を知る・活かす	—	—	—	—			
		⑤体験活動を知る・活かす(自然体験、産業体験、フットパスなど)	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成25年10月19日	60名	A - 2		
	5		バリアフリー・ツーリズム体制づくり(モニターツアーの実施)	ルート運営委員会	平成26年3月9日～11日	2名	A - 1			
	2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	6	札幌地下歩行空間におけるルートPR活動	シーニックカフェP 観光交流部会	平成25年10月12日～13日	約13000名			地域の「食」を知り、活かすため、地域の名産品をPRする活動を行った。今年度は釧路市にて「ふゆトピアフェア in 釧路」が開催されたので、それに合わせて物販、PR活動も実施した。
			7	シーニックカフェふゆトピア店	シーニックカフェP	平成26年1月23日～24日	カフェ来客数 約350名			
			②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	—	—	—	—			
3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	—	—	—	—	—		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。		
	②地域の歴史を知る・活かす(開拓の歴史、酪農産業遺産など)	8	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	2013年6月13～18日 平成25年7月12日 ～平成26年1月10日 平成26年1月23日～24日	約2000名				

②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	4	現地見学会の実施	景観まちづくり部会	平成25年9月19日	9名	地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽やリレー清掃によって、道路の美化を進めた。また、沿道花壇への植栽活動が継続されることを意識したルートマガジンを発行した。また、景観の向上をめざし、道路付帯施設や雑草の景観への影響を把握するための現地見学会を実施した。
			9	リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成25年6月1日～平成25年6月2日	約300名	
			10	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成25年6月	主催側 約1000名	
		②沿道の景観を整理・改善する	4	現地見学会の実施	景観まちづくり部会	平成25年9月19日	9名	
		③物語のある道をつくる	2	ルートマガジンの発行	景観まちづくり部会 情報広報部会	平成25年11月		
		④地域が担い・育てる景観づくりを進める	10	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成25年6月	主催側 約1000名	
			4	現地見学会の実施	景観まちづくり部会	平成25年9月19日	9名	
	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成25年4月18日 平成25年12月10日	約20名	観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡れるようなスタンプラリーを実施した。また、シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。さらに、新たな観光客層を発掘すべくバリアフリーツーリズムについての勉強会、モニターツアーを開催した。
			11	シーニックカフェスタンプラリーの実施	シーニックカフェP	平成25年5月1日～平成25年10月31日	一般参加 (応募者) 76名	
			12	くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施		平成25年7月1日～平成25年10月31日	一般参加 (応募者) 413名	
			13	バリアフリー・サポーター勉強会の開催	ルート運営委員会	平成25年12月6日 平成25年12月10日	約30名	
		②既存施設の質を整える		—	—	—	—	
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	14	移動距離・時間マップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年		観光客が地域をドライブする際に、景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるようなマップを作成し、提供した。
			15	ビギナーズドライブマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年		
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	5	バリアフリー・ツーリズム体制づくり(モニターツアーの実施)	ルート運営委員会	平成26年3月9日～11日	2名	

4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供 (きめ細かい地元情報の発信)	16	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、各種マップやマガジン、SNSでの情報提供を行った。	
		17	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年2回				
		14	移動距離・時間マップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年				
		15	ビギナーズドライブマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年				
		2	ルートマガジンの発行	景観まちづくり部会 情報広報部会	平成25年11月				
		②観光案内施設等による情報提供	17	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年2回			
		14	移動距離・時間マップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年				
		15	ビギナーズドライブマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	通年				
		2	ルートマガジンの発行	景観まちづくり部会 情報広報部会	平成25年11月				
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	16	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成25年10月19日	約60名	A - 2	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施した。シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりを行うとともに、木工工作を通じて、子どもたちが木と触れ合える機会を演出した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	18	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年	販売個数 タンブラー 約30個	A - 2	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる		—	—	—	—	—	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を本年も実施した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成25年10月19日	約60名	A - 2	
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	5	バリアフリー・ツーリズム体制づくり(モニターツアーの実施)	ルート運営委員会	平成26年3月9日~11日	2名	A - 1	公募によって2名の調査員(高齢者)を招いたモデルツアーのほか、地域においてバリアフリーに向けた体験講習会を開催した。講習会は、阿寒湖畔と弟子屈の2箇所で開催し、車イスなどを用いた実習を行った。
			②地域経済循環の仕組みを創る		—	—	—	—	

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」推進体制づくり

【概要】公募によって2名の調査員（高齢者）を招いたモデルツアーのほか、地域においてバリアフリーに向けた体験講習会を開催した。モデルツアーについては、昨年度までは非積雪期の調査であったが、冬期ツアー、冬期体験プログラムの可能性の検討、補助のあり方を確認するため3月に実施した。講習会は、阿寒湖畔と弟子屈の2箇所で開催した。

【日時・場所】バリアフリー講習会：平成25年12月6日（阿寒湖畔）、12月10日（弟子屈）  
 モニターツアー：平成26年3月9日～11日（2泊3日）  
 （阿寒湖上でのわかさぎ釣り体験、摩周焼体験、硫黄山の馬そり体験など）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【参加人数】モニターツアー 2名（高齢者）、講習会 約30名



# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：そらの森 植樹会(景観まちづくり部会)

- 【概要】 景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットの森づくりを行い、植樹後には木と触れ合うことを意識した木工工作体験を同時に開催した。また、今年度からは、ルートオリジナルグッズとしてタンブラーの販売を行い、その売上金の一部を植樹の苗木代として活用し始めている。
- 【日時】 平成25年10月19日 9時～14時
- 【場所】 そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）、900草原（工作体験）
- 【主催】 景観まちづくり部会 Clear Stream Scenic Forestプロジェクト・弟子屈エリア
- 【参加人数】 約60名





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2014/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり ＜知る・活かす＞	1)地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2)食を知る・活かす 3)文化や歴史を知る・活かす	そらの森 植樹会	平成25年10月19日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・国道沿いの樹木の剪定や重複看板の一部撤去を行うなど、景観改善に向けた取組を進めることができた。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		現地見学会の実施	平成25年9月19日	釧路開発建設部	・景観改善の現地見学会に釧路開発建設部の職員が参加。意見交換を行った。 ・釧路開発建設部にて樹木の剪定や、重複看板の撤去を順次実施。 ・現段階では国道上のみの取組となっているため、道道、市町道に範囲を広げることが課題。 ・自治体では予算の制約が課題。		
		札幌地下歩行空間におけるルートPR活動	平成25年10月12日～ 平成25年10月13日	釧路開発建設部	・全道フォーラムと同時に開催されたイベントに、釧路開発建設部の職員が参加し、多くの方に地域の景観や食をPRすることができた。		
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2)観光客を受け入れる環境を整える 3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4)各種情報を伝える・蓄える	現地見学会の実施	平成25年9月19日	釧路開発建設部	・景観改善の現地見学会に釧路開発建設部の職員が参加。意見交換を行った。 ・釧路開発建設部にて樹木の剪定や、重複看板の撤去を順次実施。 ・現段階では国道上のみの取組となっているため、道道、市町道に範囲を広げることが課題。 ・自治体では予算の制約が課題。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・国道沿いの樹木の剪定や重複看板の一部撤去を行うなど、景観改善に向けた取組を進めることができた。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		リレー清掃への参加	平成25年6月1日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて清掃活動の様子を紹介。		
		沿道花壇への植栽	平成25年6月	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、VSP活動の一環として花苗等を提供した。		
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報を発信することができた。		
		くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーへの協力	平成25年7月1日～ 平成25年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。		
		道東エンジョイマップの発行・配布	年2回(夏期、冬期)	釧路開発建設部	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成を釧路開発建設部が行った。また、道の駅やレンタカー会社への配布を行った。		
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。		
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。		
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップやルートマガジンを庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。		
		★行政連絡会議メーリングリストの作成・活用	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・行政連絡会議内でのより密な情報共有を目的に、メーリングリストを作成した。 ・各構成員からの積極的な情報発信が課題。		

③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり <創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる 2)自然を保全・活用する仕組みを創る 3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森 植樹会	平成25年10月19日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
--------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	----------	-------------	-----------------	-----------------------------------------------------------	----------------------	--

※表中“★”は、H25新規に実施した活動

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2014/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----		

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2014/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----		